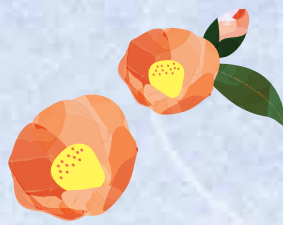


会 員 通 信



2018.2 Vol.27

- アンケート結果 1
- 研修会報告 2
- 第21回研修会案内 3
- ネットワーク会員の地域別分布状況／漢字クイズ 4
- 初めて1級に合格しました！／漢字まなび活動のご紹介 5
- 漢字教育サポーター育成事業 第7期受講者募集 6
- サポーターリレーコラム／書籍紹介 7
- 投稿募集 8

ネットワーク会員に聞きました!

今回のアンケートテーマは「**準1級・1級学習時の学習方法について**」です。
学習時に書いて練習した紙媒体や、自作の教材について伺いました。(複数回答可)

1 準1級・1級受検時に使用した紙媒体について

準1級 回答者(34名)

紙媒体	回答数	その媒体を選んだ主な理由(回答数)・ 回答内容詳細
ノート	23	家にあったから(6)、後で見返せるから(4)
リング式単語帳	5	持ち運びに便利だから(4)
ルーズリーフ	6	ページの追加・移動ができるから(2) まとめるのに便利だから(5)
チラシの裏	7	書いて覚える練習にはチラシの裏面で十分だから(5)
その他	10	各種裏紙(4)、自作の解答用紙(1)

ひたすら書いて覚えること、もしくは、後で見返すことの、主に2つの理由に応じて複数の媒体を使い分けている方が多いようです。その他、実際に書くよりも空書するほうが、頭の中でイメージできるので定着しやすいという回答もありました。

1級 回答者(10名)

紙媒体	回答数	その媒体を選んだ主な理由(回答数)・ 回答内容詳細
ノート	6	後で見返せるから(4)
リング式単語帳	1	持ち運びに便利だから
ルーズリーフ	2	ページの追加・移動ができるから(2)
チラシの裏	1	殴り書きで書いて覚える練習に使用するため
その他	5	自作の解答用紙(1)

準1級に比べ、1級では、繰り返し書くことよりも、後で書いたものを見返すことを主な目的として媒体を選んでいる方が多く見られました。

2 自作教材について

自作教材の作成の有無について伺ったところ、**準1級**は回答者**34名中17名**、**1級**はアンケート回答者の**10名全員**が自分用の教材(自分辞書)を作成していました。参考までに1級回答者の中から、詳しく書いていただいた方の回答をご紹介します。



一から自分辞書を作った

- ・ **ノート(ルーズリーフ)に対象漢字すべてを1字ごとに整理してまとめた**
漢字は独自に取り決めたグループごとに整理した順番でまとめ、関連性が明快になるようにした
まとめた内容は、音読み、訓読み、漢字自体のおおよその意味、主な熟語、等

既存の辞典に書き込んだ

- ・ **演習で誤るたびに漢和辞典(『新漢語林』)に以下の加工を行い、自分辞書にあたるものとした**
漢和辞典掲載の語の場合 ▶ 辞典の該当箇所には傍線をつける。再度誤ると困みにし、何度も誤れば何重にも囲って目立たせる
未掲載の語(当て字・熟字訓)の場合 ▶ その語の冒頭字の箇所にその語と読みを書き込む

番外編 その他の 1級対策

- ・ 漢字の国名を一覧表にする(出会ったときに一覧にしないと忘れてしまう)
- ・ 読みで出題される漢字も書けるように練習した
- ・ ひたすら只管辞書を涉猟し、多くの語彙に触れる。大漢和辞典が全巻手許にあるとかなり力になると思う
- ・ 四字熟語には故事成語を短縮したものも多いので、四字熟語を勉強すると、他の分野にも応用する事が出来る
- ・ Excellに纏めて検索しやすくする

研修会報告

第20回 会員向け研修会を開催しました。

2017年11月26日(日)に福岡県の福岡センタービルにて第20回会員向け研修会を開催し、21名の方にご参加いただきました。研修会では、映画「書道ガールズ!! 私たちの甲子園」のモデルとなった愛媛県立三島高等学校の書道部顧問を務められた服部一啓先生にご講演いただきました。

書表現にみる漢字の味わい—漢字に心をよせる「深い学び」—

福岡教育大学教育学部 教授 **服部一啓** 先生

書表現においては、鑑賞や理論が制作の下地になる

書表現は制作(書く)、鑑賞(見る・味わう)、理論(調べる・考える)という3要素から成り立っている。一般的には、書表現=制作(書く)というイメージがある。だが、鑑賞(見る・味わう)や理論(調べる・考える)を下地とするからこそ、深みのある制作(書く)が成り立つことを忘れてはいけない。文字を辞書で調べたり、その字が書かれた当時の時代背景に想いを馳せたりして、文字に興味を持って没頭する「深い学び」が、豊かな書表現に繋がっていく。

知識のみが賢さではない

「賢い」という言葉を辞書で引くと、「知識や経験がすぐれている。分別がある。」とある。私たちが書に向かい合うときには、まさにこの賢さが問われていると言える。賢さを育むためには、小学校などの早いうちに、「じっくり考えさせる」教育を行うことが重要である。単なる丸暗記ではなく、知識や五感、他者とのコミュニケーションを駆使して「腑に落ちる」まで考えることで、賢さが養われる。自身を振り返ると、「ごんぎつね」の授業で、登場人物の心情などを「じっくり考えた」経験が、今でも書や言葉に関心を持ち、それを生徒たちに伝える仕事を続けている原点になっていると感じる。このように何かに没頭し、知性・感性・コミュニケーションなどを繋ぎあわせる中で、全人格的な賢さが形成されていく。

福岡鉄斎にみる全人格的な賢さ

福岡鉄斎(明治・大正期に活躍した文人画家)は、そのような全人格的な賢さを備えた、代表的な文化人の一人である。自ら「儒者」を自認した鉄斎は、多数の和漢の書物を蒐集して読破し、その蔵書の中には、国宝に認定されるほどの貴重な書物が含まれていた。その「学び」に対する意欲は晩年まで衰えず、80代で、当時としては珍しかった鉄筋コンクリート3階建ての書庫を建てたほどだった。また、印(印鑑)や茶をたしなむ傍ら、全国に足を運んで見聞を深めるなど、書や絵画だけでなく全方位的に関心を広げていた。そして、羅振玉(中国の著名な考古学者で、溥儀の家庭教師も務めた)など当代の多数の文化人と交わりを持っていた。このようにして身につけた知性や感性が、多数の文化人との交流の中で研ぎ澄まされ、鉄斎の作品の中に融合的に表現されている。

漢字に心をよせる

漢字を学ぶ際にも、書表現に取り組む際にも、没頭することが大切である。五感を中心とした感性を研ぎ澄まし、試行錯誤を重ね、今までに得た知識・技能・経験を基礎として、他者との関わりの中で「目の前の一字」に向かい合うことが、「深い学び」に繋がっていくことは、鉄斎の創作活動であろうと、私たちの日々の漢字学習であろうと、変わるところがない。そのような意味で、書表現や漢字学習が、生涯学習の基礎になってくれればと思う。



個人所蔵の鉄斎直筆の手紙を見せながら、解説される服部先生

聴講者
募集第21回
漢検生涯学習ネットワーク会員向け研修会

日時 2018年 4月15日(日) 13:30~16:30(13:00 受付開始)

場所 フクラシア東京ステーション 6D会議室
(東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル6階)【アクセス】 JR東京駅・地下鉄大手町駅 地下直結
JR・地下鉄大手町駅 B6出口直結
JR東京駅 日本橋口 徒歩1分参加費無料
聴講者定員:140名

プログラム

講演

テーマ 「漢字の心理学」 よこやま しょういち 横山 詔一 氏 (国立国語研究所 教授)

漢字の形を思い浮かべようとすると、漢字文化圏の人は無意識のうちに指を動かすことがある。一方、欧米文化圏の人は英単語のスペルをイメージするときに指を動かすことはあまりない。このことから、漢字は身体動作やアクションを「いざなう」環境刺激なのだと考えられる。そのほか、パソコンやスマホなどで「桧-檜」などの異体字ペアが変換候補として出るとどちらの字体を選択するのかを検討した研究などを紹介し、漢字と心の関係について考えてみる。

講演者プロフィール

愛媛県出身。博士(心理学、筑波大学)。国立国語研究所教授。2017年3月まで東京大学大学院客員教授。著書に『日本語文字・表記の難しさとおもしろさ』(2014、共編著)、『記憶・思考・脳』(2007、共著)、『新聞電子メディアの漢字』(1998、共編著)など。社会言語科学会 第9回徳川宗賢賞(優秀賞)と第11回日本教育工学会論文賞を受賞。

申込方法 以下のいずれかの方法でお申し込みください。



①申込フォーム・・・右記のバーコードを読み取るか以下のアドレスを入力し、インターネット経由で情報を入力してください。

https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_91/index.do

②Eメール……………タイトルに「第21回生涯学習ネットワーク研修会参加希望」

メール本文には必要事項4点(①氏名・②電話番号・③会員番号・④住所(変更がある場合のみ))を記載して lifelong@kanken.or.jp までお送りください。

※上記の方法でお申し込みいただけない場合は、上記必要事項4点を記載し、FAXもしくは郵送にて当協会までお送りください。

※応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

※参加の可否については4月4日(水)までにEメールもしくは郵送にてお知らせします。4月9日(月)になってもお知らせが到着しない場合にはお問い合わせください。

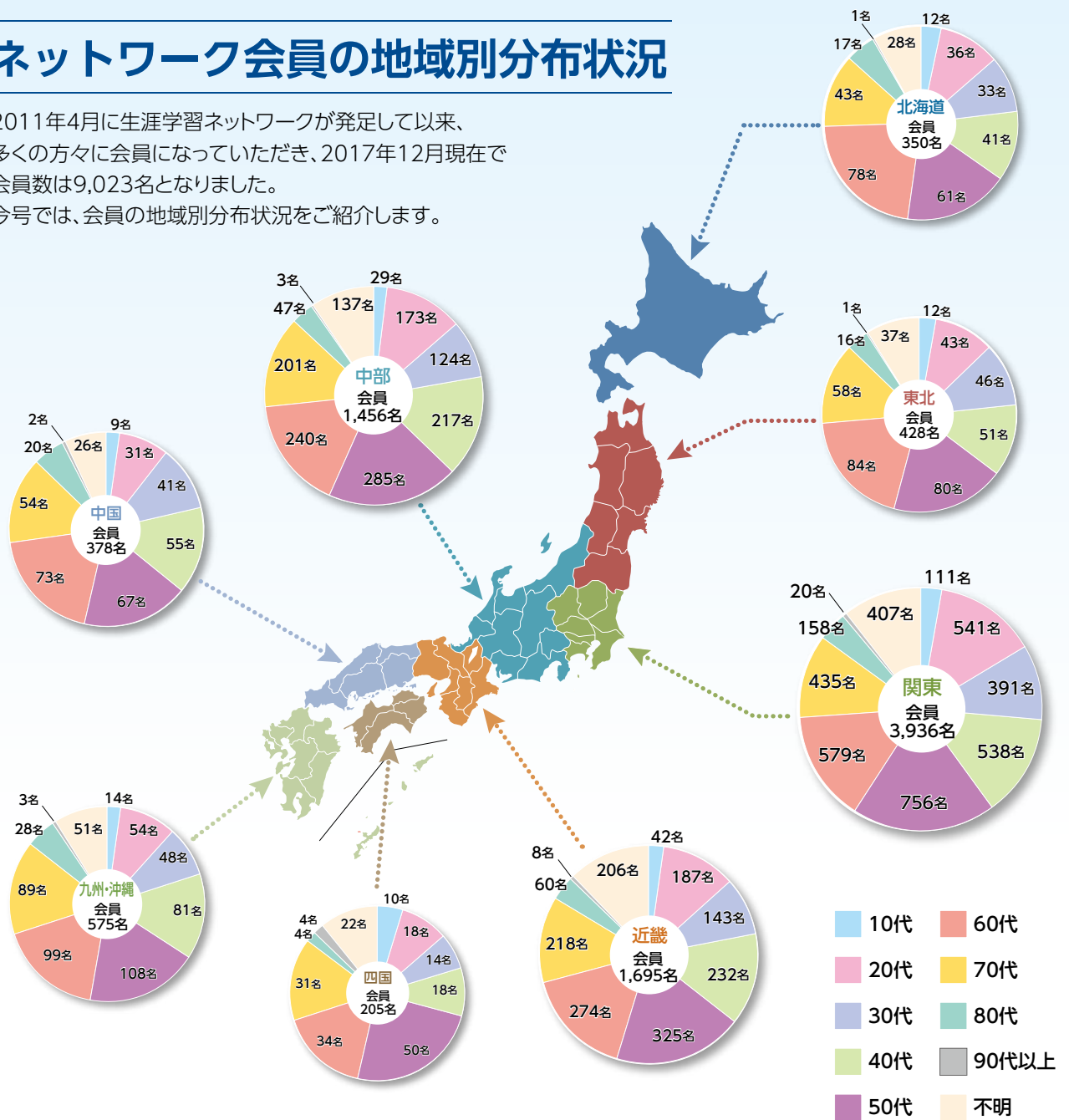
申込締切日：2018年3月20日(火)(協会必着)

2018年度
研修会開催予定のお知らせ

7月29日(日) 北海道 札幌市内 | 詳細は次回以降の会員通信にてお知らせします。
11月18日(日) 京都府 京都市内 | 皆様のご参加をお待ちしております。

ネットワーク会員の地域別分布状況

2011年4月に生涯学習ネットワークが発足して以来、多くの方々に会員になっていただき、2017年12月現在で会員数は9,023名となりました。今号では、会員の地域別分布状況をご紹介します。



漢字クイズ 難読地名 東京都

今回は、次回研修会が開催される東京都の地名をご紹介します。以下の3つの地名は何と読むでしょうか。

- ① 麻布狸穴町 (港区)
- ② 茱萸坂 (千代田区)
- ③ 智島 (小笠原村)



解答は6ページへ

※画像はイメージです。

≡ 初めて1級に合格しました! ≡

平成28年度第3回の検定で合格しました。6回目の挑戦でした。愕然とした初回から、少しずつ得点は上がってきていたものの、150点の壁が突破できず毎回残念な思いをしていました。合格証書が届いた時は本当に嬉しかったです。

検定に向けてはひたすら問題集に取り組み、一つ一つの漢字を配当級にかかわらず辞書で丁寧に調べることを、通勤のバスの中ではいろいろな本を読むことを心がけました。読んでい中で分からない言葉があれば、それも丁寧に調べました。普段あまり読まない歴史物などにも触れ、漢検を通して読書の幅が広がったことは大きな収穫です。

また、受検しているうちに知り合った何人かの方々が、合否にかかわらず毎回受検していると聞いて驚き、かつ感心いたしました。そんな方々に刺激され、私も合格イコール目標達成ではなく、漢字学習を一生の楽しみややりがいにしていきたいと思うようになりました。とはいえ、今回は本当にぎりぎりの合格でしたので、直近の目標を「どきどきせずに成績照会ができる得点をとること」に設定し、頑張りたいと思います。

(三重県 岡さん)

漢検の最高峰1級に初めて合格した会員の喜びの声を紹介します。

<岡さんへのコメント>

1級合格おめでとうございませう。漢検が、新たな言葉だけでなく、新たな本との出会いにつながったこと、大変嬉しく思います。協会では、ネットワーク会員向け研修会など、新たな「学び」との出会いの機会を設けて参りますので、ご参加いただければ幸いです。



漢字まなび活動のご紹介

北海道

活動名：3月学習会

日 程：2018年3月17日(土) 13:00～15:30

会 場：道民活動センター940研修室

内 容：第16回「力だめし200問」を開催します。

会長作成の漢字問題にチャレンジ!
読み書きの力だけでなく、歳時、暦、故事、漢文など、漢字に紐づく様々な知識が問われます。最後は皆で答え合わせをして理解を深めます。漢字が好きな方々のご参加をお待ちしています。

参加費：500円(会員以外の方)

申込先：北海道漢字同好会

TEL&FAX：011-691-5123

メール：kanji0764@nifty.com

主 催：北海道漢字同好会

神奈川県

活動名：学習会

日 程：2018年3月10日(土) 9:15～12:00

会 場：ミュージア川崎 (JR川崎駅徒歩5分)

※4月以降も第2土曜日を予定。

ただし会場未定。

内 容：漢検2級～1級までの各級のオリジナルの問題を会員が作成し、発表しています。漢検上位級の漢字に興味のある方、一緒に学習しませんか?

参加費：無料

申込先：ウェブサイト「まいづれ横浜市の「横濱漢字の会」より事前にお問い合わせください。

<https://yokohama.myp1.net/circle/00000001186/>

締切日：3月2日(金)

主 催：横濱漢字の会

※会場の都合により定員を超える場合は、やむを得ずお断りすることがあります。ご了承ください。

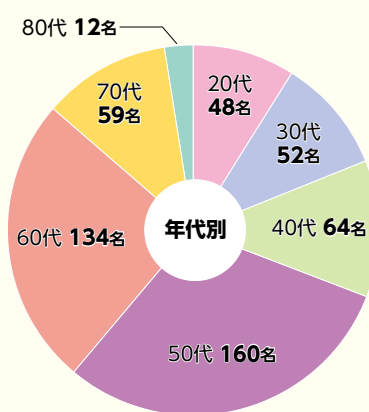
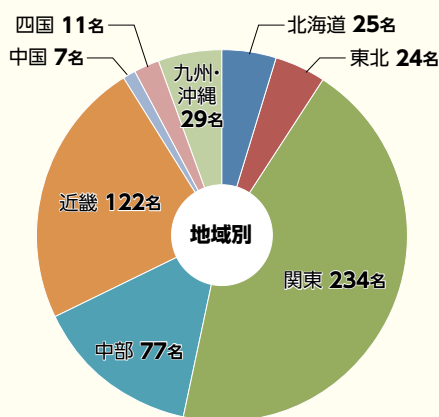
第7期(Web講座)受講者募集開始!

●漢字教育サポーターとは

漢字教育サポーターとは、専門かつ体系的な漢字の知識を活かして、地域で漢字教育の支援を行う方々のことです。日本漢字能力検定協会では、学校や生涯学習施設等からの要望に応じて、サポーターの方を講師としてご紹介しています。学校や地域団体などから漢字に関する講座の講師(有償・無償)や教育ボランティア等についての要望があった際には協力をお願いすることになります。具体的な活動例は、同封の「講座内容パンフレット」もしくは協会HP (<http://www.kanken.or.jp/kanken/supporter/>)をご覧ください。

漢字教育サポーター地域・年代別分布状況

漢字教育サポーター育成講座は現在第6期の方が受講中、講座修了者は全国に529名います。



※各都道府県の地域の分け方は4ページ「ネットワーク会員の地域別分布状況」と同じです。

●サポーターになるためには

約1年の受講期間内に、Web上にて立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所の協力による全80回の通信講座を受講、4科目のテストに合格する必要があります。4科目・80講座の内容は同封の「講座内容パンフレット」にてご紹介しています。

●受講手続について

まずは、同封の「募集要項」をご確認ください。「募集要項」には、今後の手続きの流れや、出願にあたっての同意事項が掲載されていますので、要項をよく読んだうえで、同封の「願書・志望理由書」にご記入、ご提出ください。一次締切は2月28日(水)です。

講座を受講し、漢検で培った漢字の知識をさらに深め、その魅力を多くの方々に広く伝えていきませんか?

漢字クイズ 難読地名(東京都) 解答編

- ① あざぶまみあなちょう(麻布狸穴町)
- ② ぐみざか(茱萸坂)
- ③ むこじま(智島)

※智島の周辺には嫁島(よめじま)、媒島(なこうどじま)があります。

【今回の一字】 聳 (1級)

音：セイ 訓：むこ 意味：むこ。娘の夫。

参考：『漢検 漢字辞典[第二版]』・「漢字ペディア」

※「漢字ペディア」は登録商標です。

漢字教育サポーターリレーコラム

このコーナーでは、リレー形式で漢字教育サポーターの皆さんによる漢字や漢字教育活動に関するコラムを掲載します。第3回は千葉県にお住まいの真田陽子さんにご執筆いただきました。

放課後の教室で

第1期漢字教育サポーター 真田 陽子

慌ただしい日課を終え、穏やかな空気の流れる午後、教室に居残る男子連中がスマホ片手にこそこそ相談。黒板に「扁桃」と書いて「先生、これ読める?」と聞く。

「アーモンド」と答え、「おー、すげえ」の声を背にそそくさと退散。変に對抗意識を燃やされて、答えられないような超難問を出されてはたまらない…。

県立高校で国語を教えている。

いつか漢検1級をとりたいと思いつつ数年が過ぎ、「いつか」は永遠に「いつか」だと思いつつ至った。

3年の担任になったのを契機に受験を宣言して自分を追い込んでみた。「一緒に合格しよう」がテーマだったが、ろくに勉強もできぬまま惨敗。このままでは終われない。意地で勉強を続け、翌年合格した。

漢検は生徒にとって身近な資格だ。1級とわかると一目置いてくれる生徒もいる。でも単に1級を取得しただけではマニアックな漢字の知識を持っているに過ぎない。生徒に難読語を紹介するとおもしろがってくれるけれど、それだけである。

そんな私の転機となったのが「漢字教育サポーター育成講座」だった。漢字の歴史・成り立ちから、現代の諸問題に至るまで、多角的に学ぶことで、新たな発見があると同時にばらばらだった知識が体系的な理解へと結びついていくように感じた。漢字教育士の資格も自信に繋がり、これまでより生徒に解説できる内容も幅も広がったように思う。

まあ、テストに出せるわけでもなし、今のところ実際の業務で使う機会はそれほど多くはない。それでも古代文字に興味を持ってくれたりする子がいると、つい嬉しくなってしまう。学校現場にいることで何か役に立てることがあればいいな、と思う。

とりあえず久し振りに1級の問題集でも開いてみようかしら。漢字は使わないと忘れてしまう。時々ブラッシュアップして、いつでも生徒の要望には応えられるようにしておかないとね。漢字教育サポーターの一人として、生徒の前で簡単に「わからない」なんて、言いたくありませんもの。(笑)

真田さんからの紹介で

次回は神奈川県の秋山克彦さんのコラムを掲載します。お楽しみに！

書籍紹介

『新解さんの謎』

文藝春秋 1999年 赤瀬川 原平著 【紹介者】大阪府 P.N.ももきち

この本は、三省堂の『新明解国語辞典』のまじめでシュールな言葉の解説を突っ込みつつも深く味わうための本です。

作者の赤瀬川さんは、元は現代美術家で芥川賞作家でもあります。そんな赤瀬川さんがこの辞典の独特すぎる解説や用例に対し、感じたことを面白おかしく軽妙な文章で綴っています。

併せて『新明解国語辞典』も読みたくなること間違いなし。

もはや辞典は、言葉の意味や漢字を調べるだけのものではないようです。笑いたい方には、ぜひお勧めです。



会員通信への投稿募集中!

会員通信を充実させるため、会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています。

1級に初めて合格しました!

※^{あなた}貴方の合格体験が、1級を目指している方々の励みになります。どのようにして合格に至ったのか、「貴方の」経験をご投稿ください。

投稿内容：①合格時期
②合格までの受検回数
③合格に向けて工夫したこと、励みになったこと
④合格した時の気持ち、感想
⑤今後の目標

※文字数：項目①～⑤までの合計で500字以内
※対象：平成28年度第2回(11月)～平成29年度第3回(2月)の検定で初めて1級に合格された方

書籍紹介

漢字・言葉に関する書籍で面白いと感じたもの、興味を持ったものをご紹介ください。

投稿内容：①書名 ②著者名 ③出版社名 ④発行年
⑤お薦めの理由(250字以内)

漢字クイズ・パズル

会員の方々の知識を活かした、クイズ・パズルのご投稿をお待ちしております。

投稿内容：①問題 ②解答(未発表作品に限る)
※例：漢字クロスワードパズル、難読漢字パズル、漢字クイズ等

イベント告知

ネットワーク会員に向けて、漢字に関するイベントや学習会、研修会の告知ができます。

投稿内容：①日時 ②会場 ③内容 ④参加費
⑤公開してもよい連絡先(メールアドレス・電話番号等)



※会員通信は6月、10月、2月に発行予定です。情報をお寄せいただいた時期によっては、会員通信ではなく、メールマガジンでのお知らせとなる可能性がございます。

アンケートにご回答、もしくはご投稿いただいた方の中から3名の方に図書カードをお送りいたします。(当選は発送をもって代えさせていただきます)

会員向けアンケート回答方法

会員通信に掲載するアンケートにご協力をお願いします。

今回のアンケートテーマは「ネットワーク会員の2018年の抱負を漢字一字で表すと…」です。下記のバーコードを読み取るか以下のアドレスを入力し、2018年5月1日(火)までにご回答をお願いいたします。

https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_90/index.do



※上記のアドレスにアクセスできない場合、メールもしくは電話にてお知らせください。郵送・FAX・メールいずれかの方法でアンケート用紙をお送りします。

投稿方法

①～④を明記し、メールまたはFAX、郵送にて下記の宛先にお送りください。

- ①会員番号
- ②氏名(ペンネームも可)
- ③電話番号
- ④各コーナーへの投稿内容やご意見・ご感想

投稿先 **日本漢字能力検定協会**
生涯学習ネットワーク担当
E-Mail : lifelong@kanken.or.jp
FAX : 075-532-1110
郵送 : 〒605-0074
京都市東山区祇園町南側551番地

次号の締切日：2018年5月1日(火)

※投稿・会員通信へのご感想は随時受け付けております。
※お名前・ご連絡先を投稿される場合、掲載しても差し支えないかご確認ください。
※未成年の方は保護者の方の同意を得て、ご投稿をお願いいたします。
※全てのご投稿を掲載、採用できるわけではございません。また、原稿は一部割愛・校正させていただくことがあります。ご了承ください。